

四層
電子複写不可



防衛研究所図書館



骨を此の墓の下に埋めても魂は天に登りて永
く君國を護る 長勇君の面目を此墓に詣りて
人々に彷彿させられたるに私はこの一文を草す
る 長君は明治二十八年一月十九日福岡赤松
屋郡大川村に生れ藤本幼年学校を経て陸軍少
官学校に入り大正五年卒業して少尉に任じ昭
和三年陸軍大学校を卒業し其の後累進して昭
和二十年四月中將に任じ同年六月二十三日松
尾沖繩本島麻文仁に於て壯烈なる自決を遂げ
る迄五十一年の生涯を君國に献げたまはる

武人である。私は長君が大尉の時始めて相識
りて道ちに断念の交を結ぶ。二月事件満洲事変
十月事件に際しては死生を盟して行動を俱に
し爾来光榮綿々不断長君が沖繩の花と散るま
で決して易るこゝちなかつた。陸軍大学校を出
て天保銃組とと呼ばれた軍人の中には冷冽に
して保身の術に長けた秀才が多かつた。然るに
わが長君は聰明俊敏である上に熱飲砲に大胆
であり、また愛するべき稚氣もあつたのびそり行
藏は天保銃組として甚だ異教を放つて居た。

唯だ軍人として、抜郡の天稟があつたので傍若
無人に部内に横行闊歩しながらも能く中將に
昇進したが、若し半途陸軍を退はれて身を市井
無頼の徒の間に投じたとしても此度まで代無双
の大親分となり豪傑の名を天下に誣はれるこ
と、折門后五郎乃至清水次郎長に劣らぬものが
あつたであらう。長君の一事を断行せんとす
るやその大小を問はず常に決死の覚悟を以て
した死を決せしが故に一身を顧みない、一身を
顧みない故に至誠と有る。私が長君に於て敢

も主人ざる所は、その至誠一貫の精神である。此の至誠の爲に長君は故人で君國のためと一身を献げんとし同時に唯一人のためにも一命を抛つて厭はなかつた。それ故に長君が自から正しいと信ずる所を貫かんとするや一道の秘訣を、ゴウリに人と追つたものがあつた。 葵謀本部の会議で議論沸騰した味でも、長君一人の眊と決して起ち劍鞘を握りて斜に天の一角を睨めれば能く象蹄を沈黙させたと伝へられた。まことに長君は色を愛し、酒を愛し、士を愛し、善く笑ひ善

く泣き、善く善く怒る事、雨雪風雷自然に発する如くであつた。其の上にもれ最も昔曲を好み杯を重ねて満面朱を注ぎ來れば、必ず義太夫を誇り聞かせば止まらなかつた。 天眞爛漫多情多恨豪放不羈奇略縱横 長君は更に赤洋的英雄の資格を全備してゐた。此の英雄のためには、雄を建立する許斐氏利君は長君の最も愛撫授けせられた後輩である。 沖繩の軒角日に非にして長君の武運途に尽き人とするのを見るや許斐君は長君に黄泉に伴はんと覺悟し後事を私に託

して、本土より沖繩に向ふ最後の飛行機に乗じ
て南に飛んだが、途上故障のため機は海中に
墜ち、君は救はれ九死に一生を得た。南洲月照
相抱りて麓摩訶に投じしより後、私は未だ嘗
て是の如き心中沙汰ありしを知らぬ、而して
天は南洲を懸らせし維新の文業に拮据させれ
許斐君が一死を免れたのも長君の志を継いで
我生日本のために尽くさせようとする、天意に
相違ない、いま許斐君は永く長君を記念するた
めに墓廟を建し之に刻む、又も私が書いた

冠者 市清健とて市活節の趣

慶賀至極に有知申上す。

山下、阿南、市間、共トモ此の如

非劇の将軍で有ります。

名軍の構想を練りみえするの

長勇中將、各層の間、友人と

此の将軍で有ります。

水谷八重子氏トも達り節に

同封の字裏をみせ上げたい。

此の字裏は復字でしりひすが

仙印にて少時時代のもりて有りませ。
としかく申賜ふ節 江津山の麓地を
おしずれにみて下され。構想が多少も
まともなるを有知ませ。尚 八原大佐叔
にもお逢ひ可き。此の方には諸手最後を
申一諸ひしれり。先出の申考へは
習々以上の申着眼と信しませ。この
長持手着書の内先次を念願申とし
先私をいませる。

沖 修 止 先 出

徳 井 出

右は陸軍中将牛島満蔵率の下二月
二十五日以降 沖繩島に上陸せる敵に対し
熾烈なる砲撃要下孤土せる離島に決死
勇戦す。この三閱月此の間 克く部隊の
精強を發揮し 隨所に敵を喪失せん
之に甚大なる損耗と強要し以て中外に
皇軍の武威を宣揚せしむらざる敵
海上勢力を牽制し 戦艦が艦空作戦の
戦果獲得に奇功せる所亦大なり
是れ牛島中将統率下 拳銃一隊

尽忠の誠を功し 訓練の精華を遠域

香く発揮せられたる 其の善謀敢て

真に全軍の意鑑せり

仍て茲に威状を授けず

昭和二十年六月十九日

第十方面軍司令官

陸軍大将 安部利吉

花押

冠名

長中將最後之状況中確任者は

辰光向在任 善謀大將 之内 善兵 あり

それから長家々 先任は 銀九株 あり

中將 今 切口 勝 あり

剣道 五段 大川周明 昭和三十三年

三月十日 四丁 七十一才 を以て 神

愛甲郡 津田町 中津 四八五 に 死

永昭院 故 神海 周明 大居士 に 有

駒勇み馬上ゆかたに指揮とれる
將軍の音聲
今もうつろに

君と酌みし酒の香人今も
ひとり酌みつゝひとり悲しむ

許斐氏利先出 長中博善研建
て来 お逢ひ出来日様と念
為良科らしし物と思ひ
御報知の 人

山崎 泰然云取到御燕礼をば
此間を御見物し多水は最近山下
存しりん 此見事は將軍日記山下
將軍御著作水長沖先寄
折利と云 此見事は水長沖先寄
御友人と云ふ不同の御見事
此見事は將軍日記山下
將軍御著作水長沖先寄
折利と云 此見事は水長沖先寄
御友人と云ふ不同の御見事

故孝口沖先生

沖野素村茶話長

長勇中務

淡料は大体

先生の御返極

有る事

せー長辨命

下さい事

長辨命

御意力

同封の中影

乱文心

通に御健

乱文を

三月

山下素

沖修

長中務

大人

御遺族

長勇中務

淡料は大体

先生の御返極

有る事

せー長辨命

下さい事

長辨命

御意力

同封の中影

乱文心

通に御健

乱文を

三月

山下素

沖修

長中務

大人

長はるし

東条新

松並

大宮前

四子

海

海

海

<p>长崎 10月 1日 第1回 第2回 10月 8日 第3回 10月 15日 第4回 10月 22日 第5回 10月 29日 第6回 11月 5日 第7回 11月 12日 第8回 11月 19日 第9回 11月 26日 第10回 12月 3日 第11回 12月 10日 第12回 12月 17日 第13回 12月 24日 第14回 1月 1日 第15回 1月 8日 第16回 1月 15日 第17回 1月 22日 第18回 1月 29日 第19回 2月 5日 第20回 2月 12日 第21回 2月 19日 第22回 2月 26日 第23回 3月 5日 第24回 3月 12日 第25回 3月 19日 第26回 3月 26日 第27回 4月 2日 第28回 4月 9日 第29回 4月 16日 第30回 4月 23日 第31回 4月 30日 第32回 5月 7日 第33回 5月 14日 第34回 5月 21日 第35回 5月 28日 第36回 6月 4日 第37回 6月 11日 第38回 6月 18日 第39回 6月 25日 第40回 7月 2日 第41回 7月 9日 第42回 7月 16日 第43回 7月 23日 第44回 7月 30日 第45回 8月 6日 第46回 8月 13日 第47回 8月 20日 第48回 8月 27日 第49回 9月 3日 第50回 9月 10日 第51回 9月 17日 第52回 9月 24日 第53回 9月 30日 第54回 10月 7日 第55回 10月 14日 第56回 10月 21日 第57回 10月 28日 第58回 11月 4日 第59回 11月 11日 第60回 11月 18日 第61回 11月 25日 第62回 12月 2日 第63回 12月 9日 第64回 12月 16日 第65回 12月 23日 第66回 12月 30日 第67回 1月 6日 第68回 1月 13日 第69回 1月 20日 第70回 1月 27日 第71回 2月 3日 第72回 2月 10日 第73回 2月 17日 第74回 2月 24日 第75回 2月 31日</p>			
--	--	--	--

大佐 橋本繁行 10月 1日

长崎第1回 10月 1日
 第2回 10月 8日
 第3回 10月 15日
 第4回 10月 22日
 第5回 10月 29日
 第6回 11月 5日
 第7回 11月 12日
 第8回 11月 19日
 第9回 11月 26日
 第10回 12月 3日
 第11回 12月 10日
 第12回 12月 17日
 第13回 12月 24日
 第14回 1月 1日
 第15回 1月 8日
 第16回 1月 15日
 第17回 1月 22日
 第18回 1月 29日
 第19回 2月 5日
 第20回 2月 12日
 第21回 2月 19日
 第22回 2月 26日
 第23回 3月 5日
 第24回 3月 12日
 第25回 3月 19日
 第26回 3月 26日
 第27回 4月 2日
 第28回 4月 9日
 第29回 4月 16日
 第30回 4月 23日
 第31回 4月 30日
 第32回 5月 7日
 第33回 5月 14日
 第34回 5月 21日
 第35回 5月 28日
 第36回 6月 4日
 第37回 6月 11日
 第38回 6月 18日
 第39回 6月 25日
 第40回 7月 2日
 第41回 7月 9日
 第42回 7月 16日
 第43回 7月 23日
 第44回 7月 30日
 第45回 8月 6日
 第46回 8月 13日
 第47回 8月 20日
 第48回 8月 27日
 第49回 9月 3日
 第50回 9月 10日
 第51回 9月 17日
 第52回 9月 24日
 第53回 9月 30日
 第54回 10月 7日
 第55回 10月 14日
 第56回 10月 21日
 第57回 10月 28日
 第58回 11月 4日
 第59回 11月 11日
 第60回 11月 18日
 第61回 11月 25日
 第62回 12月 2日
 第63回 12月 9日
 第64回 12月 16日
 第65回 12月 23日
 第66回 12月 30日
 第67回 1月 6日
 第68回 1月 13日
 第69回 1月 20日
 第70回 1月 27日
 第71回 2月 3日
 第72回 2月 10日
 第73回 2月 17日
 第74回 2月 24日
 第75回 2月 31日

球
 第三十三号司令官
 大将 片島 満 20期
 第三十三号参謀長
 中将 長 28期

第五回 和田 守 助 22期
 第三十四号司令官
 中将 雨宮 26期

山
 第三十三号司令官
 中将 雨宮 26期

第六回 網見 敏 24期
 第三十三号参謀長
 中将 網見 敏 24期

百
 第三十三号司令官
 中将 藤岡 武雄 23期

第七回 鈴木 繁 21期
 第三十三号参謀長
 中将 鈴木 繁 21期

石 独歩大工旅团长
 三五九部隊 中将 中島徳太郎 少期
 石 独歩大工旅团长
 四六一部隊 中将 有川五一 少期
 (碧) 独混 五九旅团长 (古古白)
 二五五部隊 少将 多賀世四郎 少期
 (駒) 独混 六千旅团长 (古古白)
 三〇六部隊 少将 安藤忠一 少期
 球 独混 六千旅团长 (谷美群白)
 七六二部隊 少将 高田利貞 少期
 球 独混 四十五旅团长 (石垣白)
 八〇一部隊 少将 吉崎武之助 少期
 海軍陸战队隊長 官
 中将 大田 美

いりは四十八番手秋 二首

出陣賦 十九年八月 花より

團陣に戦せり 葉と得玉
 花青散りし 征き止りぬ
 名譽の事に 長とて
 今日起つ身は 老ふ北
 可
 大巻の事

代詩世 二十三年三月 花より

花青散りし 別中七

にき

今日遊^レ我^レ 老^レ方^ニ
同^レ権^ニ又^ニ得^レ也^レ 用^レ之^レ也^レ

得^レ也^レ

仲^ノ父^ノ見^レ下^ニ庭

飲^レ不^レ生

四月八日

友^ノ世^ノ見^レ 廢^レ下^ニ

三〇

七^ノ見^レ七^ノ周^ノ云

五
五
五

七年七月^ノ也^レ通^レき^レけ^レる^レ南^ノの^レ峰^ノ計^ノの^レ海^ノに^レあり
ま^レし^レ事

五^ノ度^ノも^レ何^レり^レ未^レし^レ飛^レ行^レ様^ノは^レ鏡^ノ野^ノを^レ凡^レに
練^レ過^レし^レし^レと^レ云

崩^レ井^ノの^レう^レち^ノに^レ跣^レ坐^レして^レ五^ノ十^ノ分^ノ禪^ノを^レ交^レり^レて^レ行^レき^レた^レ給^レひ^レし

心七五二四三

今更に... 光る... 同様に...

得... 今...

友

沈みし... 破陣に... 舟に... 舟に...

神 鐘 出 中 昭和 20 第三十二号...

